令和７年９月３日
海　上　保　安　庁

能登半島地震、海では何が起きたのか

～第 154 回水路記念日企画展で徹底解説！～

海上保安庁では、９月 12 日（金）の水路記念日にあわせて、海洋情報資料館において企画展を開催します。今年度は、令和６年能登半島地震発生直後からの海洋情報部の初動や測量船の調査結果について展示します。

１．企画展開催期間

期間：令和７年９月３日(水)から 10 月 12 日(日)まで（月、火を除く。）
時間：午前 10 時～午後５時（入館無料）

２．場所

海洋情報資料館

住　　所：東京都江東区青海２－５－１８
　　青海合同庁舎１階
アクセス：新交通ゆりかもめ
　　「テレコムセンター」駅下車徒歩５分

３．主な展示内容

・能登半島地震の調査結果の解説
・さまざまな図で見る富山湾（海図、海底地形図、特殊図、底質図）

４．その他

海洋情報資料館では、今回の企画展示のほか、伊能図（謄写図）や歴史的な測量機器など、海洋調査等に関する貴重な資料を常設展示しています。

（参考）水路記念日とは

明治４年（西暦 1871 年）９月 12 日（旧暦７月 28 日）、兵部省海軍部に海図を作成するための部局として「水路局」が設置されたことを記念した日で、今年で 154 年目となります。この水路局の設置により我が国の本格的な海図作製が開始され、兵部省海軍部水路局は、その後、様々な変遷をたどり、昭和 24 年には海上保安庁水路部、平成 14 年からは海上保安庁海洋情報部となり現在に至ります。